



**【問題例 5】** 次の合挽肉の表示について、[ ウ ]に入る最も適切な語句を、次の①～④の中から1つ選んでください。

《前提条件》 牛肉 70%、豚肉 30%を国内で混合した合挽肉

名称	牛・豚合挽肉(7:3)
原材料名	牛肉、豚肉
[ ウ ]	米国産(牛肉)
内容量	380g
消費期限	2019. 11. 21
保存方法	要冷蔵(10℃以下で保存)
加工者	株式会社〇〇畜産 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

ウ. ① 生産地名            ② 加工地名            ③ 原産国名            ④ 原料原産地名

.....《正答と解説》.....

**【問題例 1】**正答： ②

解説：表示可能面積とは、貼付する表示ラベルの面積ではなく、表示事項を表示しても判読が困難な部分(包装の重なり部分や、キャンディ等の「ひねり」の部分等)を除いた表面積をいいます。

出所：認定テキスト・初級 P72 「3-1 加工食品の表示の基本」

**【問題例 2】**正答： ③

解説：酒類については、栄養成分表示を省略することができます。

出所：認定テキスト・初級 P128 「3-11 栄養成分表示について」

**【問題例 3】**正答： ③

解説：必ず表示しなければならないアレルゲンを特定原材料といい、この7品目が定められています。

出所：認定テキスト・初級 P82 「3-3-2 原材料名<アレルギー表示について>」

**【問題例 4】**正答： ②

解説：国産品、輸入品を問わず、純粋パークシャー種についてのみ「黒豚」と表示することが認められています。

出所：認定テキスト・初級 P56 「2-3-1畜産物 食肉 (関連情報)」

**【問題例 5】**正答： ④

解説：種類の異なる生鮮食品を混合した食品は加工食品となり、国内で加工、製造した食品の場合、原料原産地名の表示が必要となります。原料原産地名は、別記様式内に「原料原産地名」欄を設けて表示することが原則です。

出所：認定テキスト・初級 P143 「4-1 加工食品扱いとなる異種混合品」